

マイ・タイムライン講習会

- ・東京都総合防災部と連携して、浸水想定区域内の小学校を対象に、マイ・タイムライン講習会を初めて開催した。
- ・地域のハザードマップの確認、マイ・タイムラインの作成、VR体験を実施。
- ・自らの学校が避難所として使えないという事実には多くの驚きの声が上がリ、リスクを「自分ごと」として捉える上で極めて効果的であった。



今日の君たちの任務(ミッション)だ！

今日はみんなに「防災探偵」になってもらいます！



- ・君たちの最強の武器は、その手元にある「ハザードマップ」！
- ・このマップを使いこなし、わたしたちの町「立川」、そしてこの「新生小学校」に隠されたヒミツとキケンを解き明かしていこう！



探偵の基本②：見えないキケンも知る



- ・川からあふれる洪水の他にも、キケンはある。
- ・それが「**内水氾濫(ないすいはんらん)**」だ！
- ・一度にもすごい量の雨が降ると、**道路のマンホールなどから水があふれ出す**ことがある。
- ・これは、川から離れていても起こるキケンな現象だ。



任務完了！君も今日から防災リーダーだ！

- ・今日の調査で、立川の地形のヒミツと、いざという時の行動がわかったね。
- ・この知識を使って、**自分と、大切な家族や友達の命を守ろう！**



水害に関する地域防災力向上への取り組み

実施の目的

- ◆市総合防災訓練を通じた、市民への普及啓発および関係機関との連携強化を図っている。
- ◆風水害時図上訓練を通じた、市職員の防災意識の向上および関係機関との連携確認を図っている。

実施状況

市総合防災訓練

都市型水害対応訓練(ゲリラ豪雨対策)



土のう作り体験

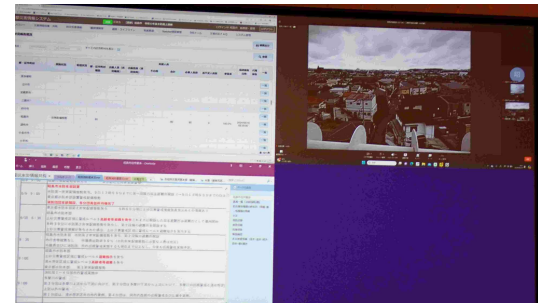


土のう積み上げ効果体験

風水害時図上訓練



図上訓練の様子



大型モニターによる情報集約

水防演習の充実

大型で非常に強い台風が接近し、市内複数箇所で道路冠水や家屋への浸水被害が発生したことを想定し、市、消防署、消防団及び小平防火女性の会が連携し、道路啓開、ポリタンクを使用した浸水防止活動、土のう工法及び水のう工法の訓練を実施した。



水害に関する防災力向上への取り組み

- ・実施場所を変えて毎年水防訓練を実施することにより、河川周辺の住民に対する水防に関する取り組みの周知を行うとともに、関係団体との連携強化や技術の定着を図っている。
- ・実践的な技術を市民にも見ていただくことや市民参加型の訓練内容とすることで、水防に関する取り組みを身近なものとして認識できるよう工夫をしている。
- ・洪水ハザードマップの掲示や洪水ハザードマップの見方に関する周知、水害発生時の避難の注意点、最新の情報の確認方法等、展示ブースの見直しにより市民に対しより分かりやすい情報発信を行った。
- ・今年度初の試みとして隣接市にも本訓練に参加いただくことで、自治体の枠を超えて市民の安心安全を確保するための連携体制を構築し、これを市民に対し周知した。

実施状況写真



住民参加型の
訓練内容



積み土嚢訓練



イラストや写真を
活用した展示方法



マンホール噴き出し
防止工法



隣接市の
訓練への参加



避難所開設・運営訓練の実施

- 大規模災害の発生に備え、市職員や地域住民等の避難所開設運営に係る災害対応力の向上を目的として実施
 - 訓練は各避難所において年2回実施し、1回目は「地区防災センター運営班訓練」、2回目は「市民参加型地区防災センター開設運営訓練」を実施
- 【訓練内容】
- 避難所の校門の開け方、備蓄倉庫の場所、鍵、IP無線機等の置いてある場所を避難所の開設マニュアルに沿って一つずつ確認。
 - その後、実動訓練として、早朝に地震が発生したとの想定で、発災後の避難所開設、運営の流れをマニュアルに沿って、一つずつ実施。



三市二署水防訓練の実施

令和7年5月18日(日)に国立市において、三市二署(国立市・立川市・昭島市・立川消防署・昭島消防署)合同による水防訓練を実施した。

・本訓練には、消防署および消防団に加え、地域住民によって結成されている自主防災組織も参加し、浸水した建物からの排水作業や、身近なものを利用した住宅浸水防止工法について、実践的な訓練を併せて行った。



浸水想定区域内の要配慮者施設における水害対応図上訓練

浸水想定区域内に立地する要配慮者施設の職員を対象に、水害を想定した図上訓練を実施。水害発生時における避難判断・初動対応・情報共有の確認を目的とした。

図上訓練で確認した主なポイント

- ・いつ避難を開始するか(判断基準)
- ・入居者の特性を踏まえた避難方法
- ・職員の役割分担・人員配置
- ・関係機関や施設内本部との連絡体制

→要配慮者施設特有の課題を整理し、実践的な対応を検討した。

当日の資料(抜粋)

令和元年台風19号の振り返り

前日、当日の行動を思い出してみましょう。

- 1 台風情報や気象・河川水位の情報はどのように収集しましたか？
- 2 当時の職員体制・危機管理体制はどうでしたか？
- 3 避難しましたか？また避難先はどこでしたか？
- 4 避難を決めたタイミング・ポイントは何でしたか？
- 5 一番困ったことは何でしたか？

2025年10月8日_水害図上訓練ワークシート

レベル	現象	防災情報		行動	課題
		気象予報等	避難情報		
警戒レベル1	気象庁が台風●●号を発令。 2日後に東日本へ上陸予定。	台風情報 気象予報 早期注意情報 (避難の必要性)	警戒レベル1 「心構えを高める」		
警戒レベル2	気象庁が大雨注意報を発表。 施設閉鎖 浸水想定	大雨注意報 河川注意報	警戒レベル2 「避難行動の確認」		
警戒レベル3	市が「高齢者等避難」を発令。	高齢者等避難	警戒レベル3 「高齢者等避難」 高齢者等避難		
警戒レベル4	市が「全員避難」を発令。		警戒レベル4 「全員避難」 避難指示		
警戒レベル5	「緊急安全確保」が発令。	大規模停電 停電発生 (10分以内)	警戒レベル5 「緊急安全確保の 実施」 緊急安全確保		

市水防訓練の実施

○関係機関及び市民を交え、土のう作成、各種水防工法、倒壊家屋救出訓練等を実施した。

実施状況写真

(市職員による土のう作り)



(土砂災害救出救助訓練)



(消防団による救助活動訓練)



(消防団員による水防工法)



(チェーンソー取扱訓練)



防災教室

市、避難所運営協議会、学校及び消防署が合同で実施した防災教室にて、市の防災食やマンホールトイレ等を展示、紹介した。

実施状況写真

※写真中の●の位置確認



避難行動要支援者ごとの個別避難計画策定の作成促進

- 独自で要支援者の支援を行っている自治会と協力し、避難行動要支援者名簿の提供に向け協定締結の準備を進めている。
- 前述の自治会や地域包括支援センター等と共に避難行動要支援者に対する個別避難計画策定に向け調整を行った。

個別避難計画の様式

個別避難計画の様式(案)		資料2
作成日:令和 年 月 日		
フリガナ		
氏名		
住所		
生年月日	年 月 日	年齢 歳
性別	男・女	電話番号
携帯電話番号		FAX番号
メールアドレス		
同居家族等		
緊急時の連絡先①	フリガナ	
	氏名(団体名)	
	住所	
	連絡先	電話番号1: 電話番号2: メールアドレス: その他:
緊急時の連絡先②	フリガナ	
	氏名(団体名)	
	住所	
	連絡先	電話番号1: 電話番号2: メールアドレス: その他:
避難支援等実施者情報①	フリガナ (団体名および代表者)	
	氏名	
	住所	
	連絡先	電話番号1: 電話番号2: メールアドレス: その他:
避難支援等実施者情報②	フリガナ (団体名および代表者)	
	氏名	
	住所	
	連絡先	電話番号1: 電話番号2: メールアドレス: その他:

避難場所等情報 ※避難時の注意事項など				
避難場所	名称			
	住所	東久留米市		
	移動方法	(徒歩・杖・歩行器・車いす・介助・その他)		
避難時に持参するもの				
避難時に配慮しなくてはならない事項	あてはまるものすべて☑ <input type="checkbox"/> 介護保険の認定を受けている 【要介護状態区分 : ()】 <input type="checkbox"/> 手帳所持 【障害名: () 等級 : ()】 <input type="checkbox"/> 難病の特定医療費、小児慢性特定疾病医療費の支給認定を受けている <input type="checkbox"/> 医療機器の装着などを行っている (人工呼吸器、在宅酸素、経管栄養、点滴、その他 ()) <input type="checkbox"/> 立つことや歩行ができない <input type="checkbox"/> 音が聞こえない(聞こえにくい) <input type="checkbox"/> 物が見えない(見えにくい) <input type="checkbox"/> 言葉や文字の理解がむずかしい <input type="checkbox"/> 危険なことを判断できない <input type="checkbox"/> 顔を見ても知人や家族とわからない <input type="checkbox"/> その他			
	<input type="checkbox"/> その他			
【特記事項】 (普段いる部屋、寝室の位置、不在時の目印、避難済みの目印など)	浸水予想区域	区域内・区域外	土砂災害警戒区域	区域内・区域外
	アレルギー	有・無 ()		
	薬の常用	有・無 ()		
	その他			
連絡先情報				
利用中の福祉サービス等	電話番号			
	電話番号			
かかりつけ医療機関など	電話番号			
	電話番号			
計画作成者(担当者)情報				
氏名			電話番号	
事業所・自治会・民生委員等				
			外部提供の同意	
			有・無	

減災に関する防災教育の推進

- 令和7年度は計3回、小学生に対して防災教育を実施。
- 来年度以降も引き続き防災教育を行っていく。

